

九州大学附属図書館医学分館

貴重古医書コレクション

〔沿革〕一九八二年に医学部諸講座提供の蔵書が貴重古医書コレクションの基礎となり、新図書館において保存用に貴重図書室が設立され、隣室では書物の展示も行いようになった。その五年後、それに高価な基礎医学古医書集成（一六四冊）が追加されたが、当時の仮目録には資料の一部しか収録されていなかった。

一九九九年に別のキャンパスにある医学分館の保存図書館で行われた調査では新たに中世頃から一八七〇年代までの和洋書、医学・博物学関係の書籍や写本約二〇〇〇冊の存在が明らかになった。また、二〇〇三年に、解剖学教室から寄贈された幕末の医書二〇六冊により医学分館の古医書コレクションは内容の大変豊富なものに成長した。その前年以來、これらの資料の迦及目録を作成し、データベース化による公開を進め、併せてコレクションとしての医史的及び書誌学的な資料価値等についても調査研究を行うことになった。

〔蔵書目録〕洋書の総目録はほぼ完成している。個々の書誌データは九州大学附属図書館のオンライン目録

(<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/opac/index-1.html>) と国立情報学研究所の総合目録データベースWWW検索サービス (<http://webcat.nii.ac.jp/>) で確認できる。さらに貴重古医書コレクションのウェブサイト (<http://herakles.lib.kyushu-u.ac.jp/gaku/index>) には和漢・洋書（書籍・写本）の総目録もある。これらはPDFファイルとしてダウンロードし、印刷もできる。これらの総目録には通常の書誌学的な基礎データの他に、付随の情報も豊富に取り入れることができた。

〔所在地・利用法〕上記の貴重古医書コレクション用ウェブサイトあるいは医学分館各種申込書のページ (<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/libinf/med/shinsei.html>) からは、貴重図書等閲覧願書および貴重図書掲載許可申請書もダウンロードできる。

〒八二一八五八一 福岡市東区箱崎六一〇一一
電話 〇九二一六四二一三三三四

詳細については医学分館のホームページ参照。

(ヴォルフガング・ミヒェル)